

平成23年度 夏のエコライフチャレンジ取り組み結果

平成23年11月
環境政策課管理係

1 市民モニター募集・実施内容

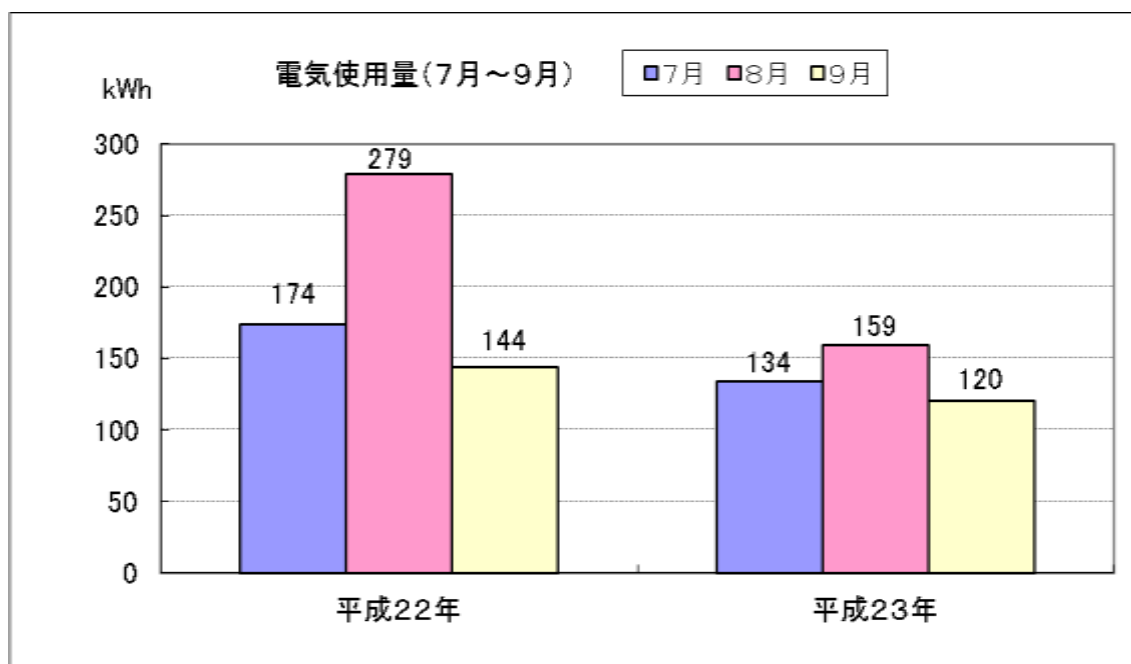
平成23年度の「エコライフチャレンジファミリー」モニターに参加した世帯では、電気や燃料などの使用量を入力するだけで簡単に二酸化炭素排出量を計算してくれる計算機「CO2カルク」を使いながら、節電や省エネにチャレンジします。夏のエコライフチャレンジには2世帯の応募がありました。

2 夏のエコライフチャレンジ結果

7月から9月まで3か月分の電気使用量と、家庭における省エネ活動について、1世帯から報告がありました。

(1) 電気使用量

モニター世帯の電気使用量を、昨年と今年で比べてみました。



3か月合計の電気使用量は、昨年同時期と比べて184キロワット、30.3%減少しました。CO2カルクで二酸化炭素排出量を計算すると約69.5kgにあたります。

(2) 省エネ活動内容

報告用紙に行動例を挙げて、実践した項目を回答していただきました。

No.	内 容	件数
1	冷房の設定温度を昨年よりも1℃上げる（目標28℃）	1
2	冷房中はドアや窓、カーテン等を閉め、効率を上げる。	1
3	使わない部屋の照明はこまめに消す。	1
4	家電製品の主電源をこまめに切る。	1
5	使わない家電製品はコンセントからプラグを抜く。	1
6	冷蔵庫は庫内を整理して開閉を少なくする。	1
7	炊飯器や電気ポットの保温を控える。	1
8	水道水を出す時間や量を減らして大事に使う。	1
9	残り湯や雨水を、打ち水や水やりに再利用する。	1
10	涼しい服装を心掛ける。	1

上記の他、モニター世帯から報告された実践方法を紹介します。

冷房	冷房は極力使わず、窓を開け、風通しを良くして室温調整をして、どうしても我慢できないときは29℃設定で対応した。保冷材を首に巻いたりした。ただし、幼児がいるので熱中症にならないようにこまめに給水を心がけ、無理のない範囲で我慢した。
節電	スイッチ付きの延長コードを利用して、冷蔵庫とビデオデッキを除くすべての家電の主電源をこまめに消した。
その他	休日は午前中に商業施設へ移動して、暑くなる日中は家にいないようにした。

(3) 御意見・感想

◇冬期のエコチャレンジやウォームビズ活動があればチャレンジしたいと思っています。

3 最後に

今回のエコライフチャレンジは、参加、報告とも少数でしたが、その分節電や省エネの努力が大きく反映されました。

このチャレンジを多くの方に知っていただき、家族みんなで参加できるエコ活動に興味を持っていただければと思います。

御協力いただいたモニターの皆様、ありがとうございました。